



# みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第36号 令和3年3月17日発行

三和地域の人口・世帯数  
男 1,528人  
女 1,611人  
合計 3,139人  
世帯数 1,651世帯  
(令和3年2月末 現在)

発行：三和地域協議会  
編集：広報編集委員会

## 三和町文化協会機関誌

### 「文化」第51号を発売！コロナ特集など掲載！

コロナ禍の中、三和町文化協会（和田憲幸会長）の機関誌「文化」が今年も変わらずに発行できました。



完成した「文化」51号

号数も51に達し、これも三和の運営に当たられてきたNPO丹波・みわ様からの助成をはじめ、多くの方々のご協力のおかげで、この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

高齢化の進展で加盟団体、会員らの減少が続く、文化協会の活動は予算面でも制約を受けるなど難しくなってきました。和の文化誌として、発行を重ねていきたいと思います。昨年大きな節目となる第50号の記念誌を出すことができました。「文化」創刊号の発行は、1977

（昭和52）年の8月。先輩たちが積み重ねてこられた44年にわたる歴史を踏まえ、また新たな一歩を踏む51号です。そんな再出発の気概も込め、掲載内容など編集委員で話し合ってきました。

1年以上にわたりコロナと向き合う日々が続く、日常の暮らし、文化活動なども制約を受ける状況を踏まえて、「新型コロナウイルスと暮らし」をテーマにした特集を組むことにしました。コロナ禍での地域の生活、感染状況の一端を後世にも残したい、との思いもありました。コロナに対応しての当協会加盟クラブの活動や、

会員らの暮らしの様子を詳しく紹介しています。特集のほかにも、2020年度の福知山市展賞（絵画の部）に輝き、3度目の



特別賞受賞の樋口さんの作品

同賞を射止めた後藤大郎さんと、「日本風景写真グランプリ2020」の「四季の彩」展で2年連続特別賞の樋口光男さんを、和田会長が取材したレポートも



市展受賞の後藤さんの作品

あります。お2人の作品にかける強い信念と情熱がうかがえます。さらには、胸に響く短歌や俳句、現代詩、随想のほか、「三和の光秀伝承」「大江山と鬼俳句」、歴史の道を紹介する「昔を歩く」（一）など、興味を引く読み物も掲載しています。

昨秋は、コロナの影響で三和町最大の住民あがりのイベント「三和ふれあいフェスティバル」が中止され、三和町文化協会加盟団体の作品展示やステージ発表の場も失われました。そんな中で、さまざまな発表の場ではありますが、51号の歴史を刻めたこと、嬉しく思っています。51号は三和町や三和地域協議会、市三和支所、三和地域公民館などにもありますので機会があればぜひ「一読ください。」（三和町文化協会副会長 後藤定司）

## 図書館からのおしらせ

寒さがやわらぎ、春らしくなってきました。今年に入り、三和保育園からは、クラスごとに本を借りて来てくれます。お友だちや先生と一緒に、「アンパンマンにしようかな」「のりものの絵本がいい」と、とっても楽しそうに絵本を選んでいる様子を見て居合わせた利用者さんも職員も、思わずニツコリしてしまいます。

「いっしょに よもう、いっしょに よもう」2021年子ども読書週間の標語です。ぜひ、子どもさんと一緒に図書館に来てください。たくさん本をそろえてお待ちしています。

またコロナ禍でおうち時間が増えたとこともあり、初めての方や、久しぶりに図書館に来館された利用者さんもおられます。新聞や雑誌を読みにお気軽にお越しください。



### 令和3年度 三和地域協議会 第8回総会のご案内

感染予防のご協力をお願いします  
(マスク着用・消毒・検温などの実施)

日時 4月10日（土）（総会のみ開催）  
時間 午後13:30～15:00  
三和荘 多目的ホールにて

新型コロナウイルス感染状況により、昨年同様文書郵送方式に切り替えることがあります。



### ラジオは京都府里の公共員

どうがせ けい 洞ヶ瀬 圭さん

FM丹波で月々金曜午後4時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー、第21回が2月24日に放送されました。今回は、移住者で京都府里の公共員の洞ヶ瀬圭さんをお迎えしました。三和での暮らし、公共員として取り組んでおられるサロン「よってっ亭」、か



三和の魅力満載の放送です

左下のQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）

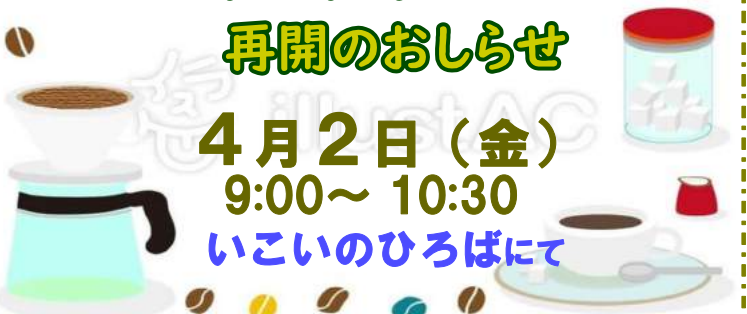


### みわしまわりside 利用状況をお知らせします！

	累計 (平成29年10月～令和3年2月)
会員登録者数	138人 (内訳: 男性33人・女性105人)
利用者数	98人 (内訳: 男性23人・女性75人)
運行便数	2,126便
輸送人数	2,435人

### みわふれあいカフェ 再開のおしらせ

4月2日（金）  
9:00～10:30  
いこいのひろばにて





# 羽ばたけ! 地域のイチおし企業

## ③ (株)野村佃煮 丹波三和工場



福知山公立大学  
地域経営学部 教授  
亀井 省吾

こんにちは、福知山公立大学の亀井です。大学では、去る2月20日に地域協働型教育成果報告会が開催され、担当した1年ゼミ生は、三和地域における「生きた学び」の成果を発表することができました。関係各位には、コロナ禍にも関わらず献身的なご協力を賜り、感謝の念に耐えません。この場を借りて改めて御礼申し上げます。



(株)野村佃煮丹波三和工場

さて、今回ご紹介するのは、長田野工業団地アネックス京都三和の株式会社野村佃煮さん。

私の知人にもファンが多い会社さんです。インタビューさせて頂いたのは、取締役常務執行役員で丹波三和工場長の川野正克さん、そして、係長の廣瀬真也さんです。ISO9001認証を取得し品質衛生管理が徹底された工場内を案内して頂きながら、お話を伺いました。



川野工場長にお話を伺いました

①人を中心とした 安全な工場と商品づくり  
この製造工場では、100種類あまりに及ぶ京佃煮を総勢18人で製造しています。安心安全な商品づくりを徹底するため、原材料や製造環境の点検、商品の検査、アレルギー物質・食品添加物などの情報管理も行っています。一方で、京料理の伝統を守り培ってきた「野村の味」を受け継ぐべく、素材を生かした微妙な味付けや炊き加減に気を配っています。よって、生産の中心を「人」に置きつつ、徹底した衛生管理システムのもと、機械による自動化との融合をはかっている点が特徴としてあげられます。

②これまでの歩みは?  
同社の歴史は昭和6年に、先々代の野村三郎氏が京都・錦市場に開いた小さな惣菜店に始まりました。それ以前には、惣菜を作って売ることは考えられていませんでした。それ故、手間をかけても新改良の基地ともなっています。

③京都の食文化を守り続ける  
工場長の川野さんは、「味の匠 京都のフーダイスター」の称号を持つ職人さんです。その称号は、一般社団法人京都府食品産業協会が、京都の食文化を守り続ける職人として認定したもので、技術の向



開梱室の様子

鮮なものを提供する、京料理を基本としたその心と技で、たくさんのお客様を獲得しました。やがて惣菜づくりで鍛えられた技は、独自の佃煮づくりへと生かされていきます。営業拠点も、昭和7年に京都「丸物百貨店」へお惣菜と佃煮の1号店を出店したのを始め、奈良、大阪などの関西エリア、東京、九州、北海道にまで進出を果たしています。平成に入ると、その品質は一層高く評価されます。風味まるやかなちりめん



ちりめん山椒



賀茂錦



調理室の様子

④従業員の思いから生まれた商品  
新たな商品は従業員さんからも生まれています。廣瀬さんも参加した社内プロジェクトでは、子育て中の親である従業員さんの想いから「ごま入りつくだに昆布」が生まりました。「子供が喜ぶおいしいおにぎりを作りやすく」をコンセプトに、様々な用途に使えるペー



ごま入りつくだに昆布

### インタビューを振り返って ☆イチオシの理由☆

⑤最後に、今後の抱負について聞かせてください  
野村の伝統の味を、より多くの人に知ってもらいたいと思います。少子高齢化が進む社会において、医療や介護食分野への参入も視野に、施設などにカタログを配布しているところです。

また、従業員さんが、親の視点で商品開発を行うなど、顧客視点にたった食品づくりができるのも、人の心を大事にしている経営だからこそと感銘を受けました。未来の工場のあるべき姿を見出した、そんな取材となりました。有り難うございました。



川野工場長と廣瀬係長

### 編集後記

観光協会のハイキングで、何度か工場見学をお世話になった野村さん。川野工場長をはじめ従業員の方達がお仕事中にも関わらずみなさんが笑顔で、丁寧に案内して下さいました。そんなみなさんを思い出しながら野村佃煮さんがずっと愛され続ける理由のひとつはこういう事なんだと今回訪問された記事を通し、改めて感じた私です。